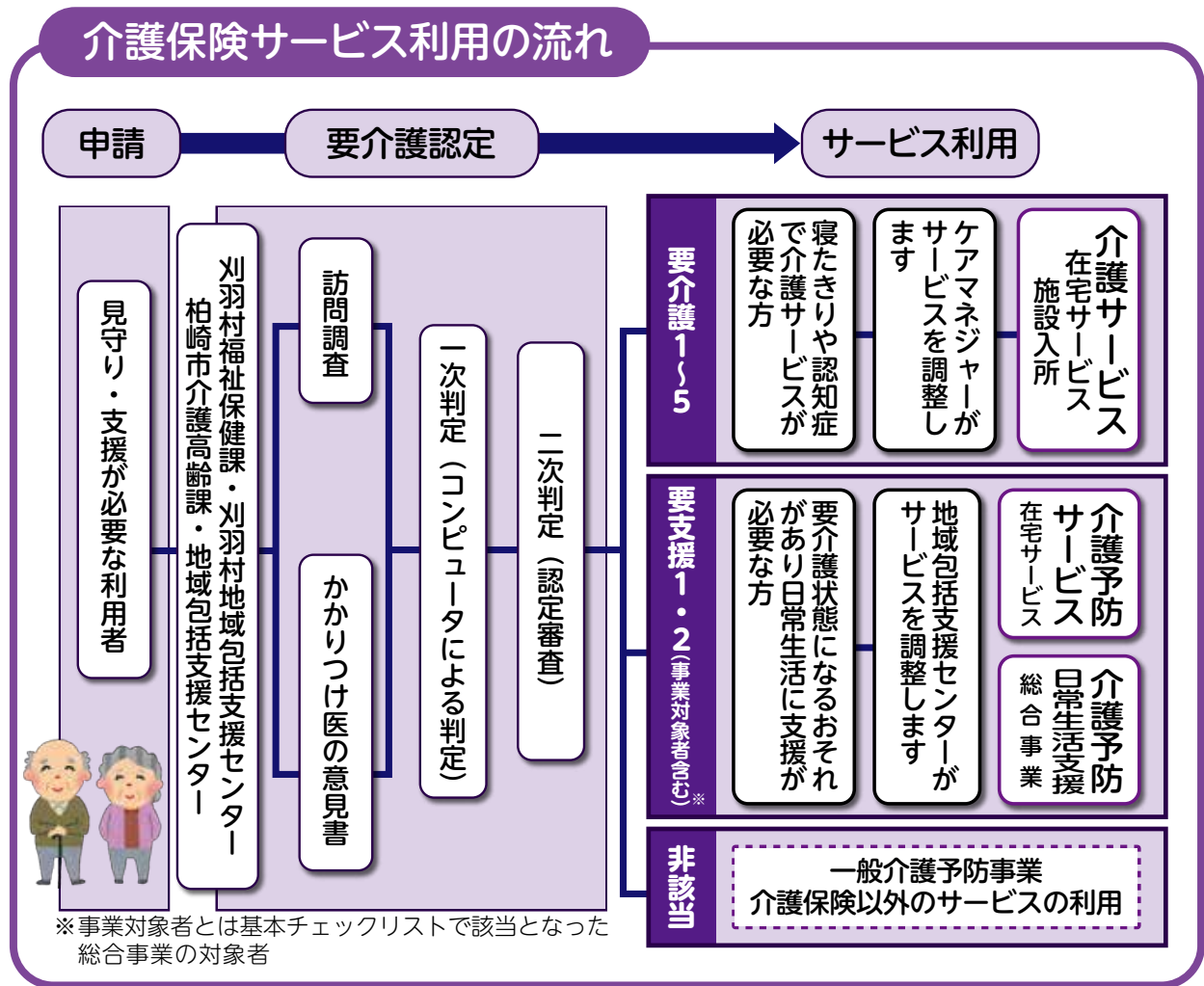


6 知っておきたい介護保険制度

介護保険は柏崎市・刈羽村がそれぞれ運営し、40歳以上の方が加入して保険料を納めています。介護が必要になったときは、費用の一部を支払って介護サービスを利用できる仕組みです。

介護保険を利用するには、まず申請をして「要介護認定」を受けます。「要介護認定」とは、介護サービスがどれくらい必要かなどを判断するための審査です。(介護保険の制度改正により内容が変更になる場合があります)申請の際は、おすまいの市町村担当課・地域包括支援センターにご相談ください。

介護保険サービス利用の流れ



医療との上手な付き合い方
かかりつけ医のすすめ
休日・夜間の救急診療
救急車の利用の仕方
知っておきたい医療保険制度

65歳以上(第1号被保険者)の方

介護や支援が必要であると「認定」を受けた場合に、介護サービス・介護予防サービスを利用できます。

40~64歳(第2号被保険者)の方

介護保険で対象となる病気*が原因で「要介護認定」を受けた場合に、介護サービス・介護予防サービスを利用できます。

*介護保険で対象となる病気(特定疾病)には、脳血管疾患等16種類が指定されています

介護保険の保険証

- 1人に1枚、保険証が交付されます
- 65歳になる月に交付されます
- 保険証が必要なときは
 - ・要介護認定を申請するとき
 - ・サービスを利用するとき など

認知症に関する情報は
「認知症ガイド」(柏崎市)
「認知症ガイドブック」(柏崎市・保存版)
「医療・介護ガイドブック」(刈羽村・平成28年度版)
 をご参照ください

知っておきたい介護保険制度
役立つふろく

ケアマネジャーとはどんな人？

利用者の希望や心身の状態に応じて、適切にサービスを利用できるように導いてくれる窓口役です。



地域包括支援センターとは？

保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーなどの専門職が、柏崎市・刈羽村・医療機関・サービス提供事業所と協力して支援を行う、地域の高齢者の総合的な相談窓口です。

●費用の支払い

自己負担割合

- ・介護保険のサービスを利用… 原則として利用料の1割
一定以上の所得のある方は、2割または3割
- ・在宅でのサービスを利用… 介護度別に上限(限度額)があります

負担が軽減される場合があります

自己負担が高額になったとき

基準の限度額を超えたときは、超えた分が「高額介護サービス費」として後から給付されます。

施設サービスを利用したとき、所得が低い方の居住費と食費の軽減

介護保険施設への入所や短期入所したとき、市・村民税の課税状況や預貯金等の要件を満たす場合は申請により軽減されます。

介護保険と医療保険の支払いが高額になったとき

介護と医療の年間の自己負担額が限度額を超えたときは、超えた分が払い戻されます。

生活が困難な方の利用者負担額の軽減

特に生活が困難な方には、介護サービス費の利用者負担額と食費および居住費(滞在費)が軽減される場合があります。

介護が必要とならないよう、日ごろから健康づくり(介護予防)に取り組みましょう

新潟県の健康寿命と平均寿命(平成28年)



出典：第11回健康日本21(第二次)推進専門委員会資料(厚生労働省、2018年3月)

健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことで、全国平均は男性72.14歳、女性74.79歳です。新潟県は47都道府県中、男性10位、女性11位です。健康寿命を伸ばすためには、生活習慣病の発症と重症化予防をはじめ、子どもから高齢者まで、年代に応じた健康づくりが大切です。

医療との上手な付き合い方

かかりつけ医のすすめ

休日・夜間の救急診療

救急車の利用の仕方

知っておきたい医療保険制度

知っておきたい介護保険制度

役立つふろく

※介護保険について、詳しくは柏崎市介護高齢課、刈羽村福祉保健課へ